

## 06年度学校法人専修大学決算

### 「大学の総合力」高める教育・研究を推進

学校法人専修大学の2006年度決算は、5月23日開催の理事会・評議員会で承認され確定した。

専修大学・石巻専修大学・専修大学北海道短期大学では、21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」の具体的推進と「学生を基本に据えた大学づくり」を諸策の骨格として積極的な大学運営を進めている。

大学間の競争が激しさを増し、二極化の様相が顕著になってきたいま、大学教育によって、学生に「社会知性」を身につけさせ、社会の屋台骨を支える有為な人材を輩出するとともに、大学の研究力によって社会のあるべき姿を「知の発信」として提示していくことが極めて重要であり、三大学においては、この基本理念を共通基盤として大学の総合力を高めるため、教育・研究活動を推進している。

06年度は、より一層経営基盤を強化するため、経常的経費については、前年度比1～3%の削減を目標とした節減体制をとりつつも基本理念を具現化する事業計画に基づき、教育・研究の質的強化を図る予算とした。

専修大学では、09年の創立130年に向けて、生田10号館(130年記念館)の建設を始めとする、さまざまな記念事業を展開し、石巻専修大学、専修大学北海道短期大学においても産官学連携の研究活動や地域社会に貢献する各種の取り組みを推進してきた。